

平成29年東御市議会第4回定例会 招集あいさつ

(平成29年12月1日 午前9時開会)

1 はじめに

本日ここに、平成29年東御市議会第4回定例会を招集申しあげましたところ、議員各位におかれましては年末を迎え何かとご多用の中、ご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

2 諸般の情勢

10月に行われた衆議院議員総選挙において与党が三分の二を超える議席を確保し、11月1日に自由民主党、公明党の連立による第4次安倍内閣が発足しました。

11月17日の第百九十五回国会における所信表明演説において、安倍総理大臣は、「生産性革命」と「人づくり革命」を断行し、新しい経済政策パッケージを策定して速やかに実行に移す、と表明されました。

その中では、「人づくり革命」の一環として、幼児教育の無償化などを進め、「我が国の社会保障制度を、お年寄りも若者も安心できる「全世代型」へ大きく改革していく」としております。

本市としましては、国の動向を日々注視しながら、今後の市政運営や平成30年度予算編成等にあたってまいりたいと考えております。

次に、本市のこれまでの動きの中の主な行事や活動について、申し上げます。

(火のアートフェスティバル)

9月30日から10月1日までの2日間にわたり、自然とアートをテーマにした「火のアートフェスティバル2017」を開催しました。

本年は、「五感で楽しむアートミュージアム」をコンセプトに、天空の芸術祭とコラボレーション〔共同制作〕して、芸術むら公園全体を6つのエリアに分け、アート作品群やワークショップ会場を巡るスタンプラリーを実施したほか、夜には東御市建設業協会の皆様のご協力を頂き子ども達によるキャンドルアートの制作も行い、市内外から大勢の来訪者を迎えることができました。

(天空の芸術祭2017)

9月30日から10月29日まで、北御牧地区を会場に、地域と東京藝術大学が連携した「天空の芸術祭2017」が開催されました。

今年は、開会セレモニーを火のアートフェスティバルと合同開催したことで、来場された皆さんには、これまで以上に自然や風景等、地域の魅力や芸術活動に触れ親しんでいただく機会になったと感じております。

また、子どもたちが段ボールで作ったアケボノゾウのイメージ作品や地域の皆さんの思い出の品などを展示したコーナーなど、作家の作品だけでなく市民の皆さんの作品も多く展示されました。

さらに、準備や運営にもたくさんの市民ボランティアの皆さんに関わっていただくなど、市民参加型の芸術祭として市内外から注目を集めました。今後も地域の皆さんが主体となって、地域の魅力をPRできるイベントとして定着していくことを期待しております。

(10月3日「東御の日」)

10月3日の「東御の日」は平成18年に制定され、今年で12年目を迎えました。

当日は、永きに亘り地域社会の発展と福祉増進のために各分野において寄与された皆様と、市に多額の御寄附をいただいた皆様に対する表彰、花いっぱいコンクールに入賞された皆様の受賞式に続き、信濃町在住の作家、C. W. ニコル先生をお迎えし、記念講演会を開催いたしました。

「こころの木を育てよう」と題した講演では、ご自身の進める森林保全活動をもとにした「木育」に関する講演をいただき、中央公民館の会場一杯の皆様に聴講いただきました。

(モルドバ共和国訪問、カフル市との覚書の締結)

10月4日から10日まで、私と依田市議会議長をはじめ、総勢13名によりまして、ホストタウンの相手国でありますモルドバ共和国を訪問いたしました。

現地の日本大使館、モルドバオリンピック委員会などを訪問するとともに、首都キシナウでのワインフェスティバルの式典会場におきまして、ホストタウンとして東御市のご紹介を受けてまいりました。

モルドバに滞在中、「カフル市」を訪問いたしました。この「カフル市」は、東御市のワインフェスティバルにもお越しいただきました駐日モルドバ共和国特命全権大使ブマコフ閣下から、東御市と人口規模が類似しており交流を深めていく相手として相応しい、としてご紹介をいただいた「ワイン等を代表とする農産物に恵まれた市」であります。

今後「カフル市」との交流を通じて友好関係を育み、相互理解を深めていくこととする「協力関係に関する覚書」をニコライ・ダンディス カフル市長と取り交わしたところでございます。

モルドバへは、ホストタウンの仲介をしてくださいました元駐カタル日本大使の北爪ご夫妻も同行いただき、また、ブマコフ大使自らの心のこもったおもてなしを受けました。

全てのご縁に感謝するとともに、このご縁が広く市民の皆様に広がりますよう、ホストタウン事業を推進してまいりたいと考えております。

(特定非営利活動法人「海野宿トラスト」設立総会)

10月28日には、特定非営利活動法人「海野宿トラスト」の設立総会が行われました。

海野宿は、昭和62年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されており、今年で30周年にあたる節目の年に区の組織を発展させ、自主的、意欲的に地域の課題解決を図ることを目的に設立されたものです。

海野宿の観光による地域の活性化や景観保存等のため、「海野宿トラスト」の活動にご期待申し上げます。

(海野宿ふれあい祭り)

海野宿を舞台に、地域住民と来訪者の交流を育む第27回海野宿ふれあい祭りが、11月5日に開催されました。

本年から開催日が11月の第1日曜日に変更となり、来場者の減少が心配されたものの、秋映えの晴天に恵まれ6千人を上回る方々で賑わいました。

本年は、宿場当時の衣装をまとった時代衣装行列のほか、上田城甲冑隊と松代甲冑隊の協力による、真田「赤備え」武者行列の勇壮な練り歩きもあり、盛況に開催することができました。

(市道県・東深井線開通式)

11月6日に、関係する皆様のご理解ご協力を賜り進めてまいりました市道県・東深井線（県地区）の開通式を迎えることができました。

本道路は、市役所が防災拠点・広域避難施設としての機能を拡充するために必要不可欠であるとともに、駐車場を併設し、駐車スペースの確保を図ったことで、これまで以上に市役所周辺施設の利便性の向上と市役所周辺の交通の円滑化を図り、通過交通の分散化をすることで、渋滞緩和に寄与できるものと期待しているところでございます。

なお、本道路の開通によりまして、舞台が丘公共施設整備事業はすべて完了となりました。

議員各位並びに市民の皆様に、厚く御礼申し上げます。

(どんどこ！巨大紙相撲大会)

11月11日には、「どんどこ！巨大紙相撲大会雷電東御場所」を開催しました。

400名を超える出場者及び観衆のもと、雷電と同じ身長197cmのダンボール製の力士27体による白熱した取り組みが繰り広げられました。

テレビニュース等でも数多く取り上げられ、大会を通して雷電為右衛門を県内外に発信することができました。

巨大紙相撲大会をもちまして、生誕250周年記念事業は終了となりましたが、引き続き雷電為右衛門の業績の顕彰を進めてまいります。

(うんのわ“信州の木”建築賞 最優秀賞受賞)

昨年度、県内の優れた木造建築物を表彰するため、長野県が新

たに創設した“信州の木”建築賞において、本市の「海野宿滞在型交流施設うんのわ」が最優秀賞を受賞し、11月17日の受賞式において盾が授与されました。

今回の選定は、概ね建築後70年以上が経過した木造建築物でリフォーム・リノベーション工事を実施した建造物の応募に限られ、応募総数17件の中から栄えある最優秀賞に輝いたものであります。

地域のシンボルでもある歴史遺産的な木造建築物が有効に活用されていることや、地域の文化や風土、街並みや周辺景観との調和が取れている点が高く評価されたものであります。

このたびの受賞を機に、「うんのわ」も含め、より一層の海野宿全体の観光振興につなげてまいりたいと考えています。

(生ごみリサイクル施設 生ごみ分別収集開始)

昨年度から建設を進めております生ごみリサイクル施設の愛称が、市民の皆様からの公募により、「エコクリーンとうみ」に決定いたしました。

この「エコクリーンとうみ」への生ごみの受け入れ・堆肥化が可能となり、本日12月1日から第1段階として、田中地区・滋野地区におきまして、生ごみの分別収集を開始いたしました。

この日を迎えられましたのも、議員各位をはじめ区長・市民の皆様の多大なるご理解ご協力によるものと、感謝申し上げます。

今後は、祢津地区・和地区・北御牧地区と、来年度以降、順次分別収集を開始し、市民の皆様との協働により生ごみリサイクルシステムづくりを進め、「循環型都市とうみ」を目指してまいります。

3 提案議案の説明

それでは、本定例会に提案いたします議案につきまして、順を追ってその概要を申し上げます。

(平成29年度補正予算)

最初に、平成29年度の補正予算につきまして、ご説明申し上げます。

今回の補正予算は、9月補正予算以降の諸事情により、必要が生じた新規の事務・事業費や、国・県補助の精算等に伴う事務費及び財源の調整につきまして、関係経費を計上いたしました。

議案第73号から議案第76号まで、一般会計・特別会計・公営企業会計合わせて4件の補正予算でございます。

まず、議案第73号「平成29年度東御市一般会計補正予算(第6号)」でございますが、歳入歳出予算に1億8,060万2,000円を追加して、総額を153億193万3,000円といたすものでございます。

その主なものは、

- ・ 私立保育園に対する保育所運営委託料の増額補正
- ・ 生活保護費等に係る国庫補助金精算金の補正
- ・ 御堂地区関連の工事請負費等の増額補正
- ・ 市道の除雪並びに融雪剤散布に係る委託料の増額補正
- ・ 市民プール改修工事費の減額補正
- ・ 地方債の繰上償還にかかる公債費の増額補正
- ・ 人事異動に伴う人件費の増額補正

などでございます。

これらの財源といたしましては、国や県の補助金並びに地方債及び繰越金・基金繰入金を充てるものでございます。

また、湯の丸高原施設整備推進事業費、生ごみリサイクル施設運營業務費及び花いっぱい運動花苗栽培委託に関する債務負担行為につきましても、補正をお願いするものでございます。

次に、議案第74号「平成29年度東御市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)」につきましては、退職被保険者に係る療養給付費等の増額補正をお願いするものでございます。

次に、議案第75号「平成29年度東御市水道事業会計補正予算(第1号)」及び議案第76号「平成29年度東御市下水道事業会計補正予算(第1号)」につきましては、それぞれ資本的支出の増額補正をお願いするものでございます。

詳細につきましては、それぞれ担当部長から提案の説明を申し上げますので、よろしくお願い申し上げます。

(条例の新設、一部改正及び廃止)

続きまして、条例等の議案につきましてご説明申し上げます。

条例案につきましては、議案第77号「東御市教育に関する事務の職務権限の特例を定める条例」から、議案第85号「東御市高齢者共同住居条例を廃止する条例」まで、9件でございます。

その内訳としまして、新設の条例が1件、既存条例の一部を改正するものが6件、条例の廃止が2件でございます。

(事件案件)

次に、議案第86号及び第87号につきましては、湯の丸高原のスポーツ交流施設及びビジターセンターの指定管理者の指定に関するものでございまして、地方自治法の規定に基づき、議会の議決をお願いするものであります。

また、議案第88号につきましては、本市が構成団体となっております上田地域広域連合に関するものでありまして、規約の変更に

つきまして、地方自治法の規定に基づき、議会の議決をお願いする
ものであります。

詳細につきましては、それぞれ担当部長から提案の説明を申し
上げますので、よろしくお願い申し上げます。

本定例会に提案いたします議案の概要は、以上のとおりでござ
います。

いずれも重要な案件でございますので、よろしくご審議をいた
だき、ご決定を賜りますようお願い申し上げます。

4 むすびに

先日18日に竣工した湯の丸高原のスポーツ交流施設を、高所ト
レーニング国際シンポジウムで訪れた国内外の多くの関係者に見
ていただき、「高地トレーニングができる日本一標高の高い陸上
トラック」に名乗りを上げることができました。

1000日を切った東京オリンピック・パラリンピックに向けた、
オリンピックを応援する自治体として、陸上トラックに加え、日
本初となる高地トレーニング用特設プールの施設整備を進めてま
いります。

市民の皆様並びに議員各位におかれましては、今後とも格別な
るご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、本定例会招集
のあいさつといたします。

平成29年12月 1 日

東御市長 花岡 利夫